

## 2015年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	教授
氏名	牧野 武彦		
NAME			

## 1. 研究課題

（和文）日本語話者による英語の特徴調査の補助資料としての、英語話者による英語および日本語話者による日本語の音声資料の収集

（英文）

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

現在取り組んでいる科研費の課題である日本語話者による英語発音の記述的研究を妥当に行うためには、現に用いている日本語話者による英語のデータのみならず、コントロール群として、英語話者による英語、および日本語話者による日本語のデータも必要である。それを収集するのが本課題の目的であった。

英語については、アメリカの言語データコンソーシアム（LDC）より、“Boston University Radio Speech Corpus” “Santa Barbara Corpus of Spoken American English” “Nationwide Speech Project” “The Walking Around Corpus” を購入した。いずれも音声データであり、正書法による書き起こしは付いていても音声表記などのラベリングはなされていない。現時点では購入しただけの状況にとどまっているが、今後これらの内容を精査し、それぞれのコーパスの特徴を明らかにした上で、具体的に音声的特徴を分析する予定である。

日本語については手続きが遅れたためコーパスの購入には至らなかったが、追って国立国語研究所の「日本語話し言葉コーパス」を入手する予定である。

この研究課題により収集したデータでも、不足する資料があり、それは同一日本語話者による日本語発音と英語発音のデータである。これは今後別資金により収集することとしたい。

（英文）